



若葉小 シンボルツリー “すずかけ”の話

昨日から後期がスタートしています。そんな後期のスタートの本日の学校朝会では、本校のシンボルツリーのお話をしました。

右の写真は、今年の5月のすずかけの木の姿です。これが若葉小のシンボルツリーなのです。校歌にも登場します。「すずかけの若木のように 手をつなぎ のびるよみんな」♪

そこで、すずかけの木について、調べてみました。実は、このすずかけの木は、世界の歴史の中でも「学びの木」として大切にされてきた木なのです。

今から2500年も前、古代ギリシャという国にプラトンという偉大な哲学者がいました。彼は、「どう生きるのが正しいのか」「人と人とはどう助け合うのか」を考え続けた人です。プラトンは、弟子たちとたくさん語り合っ、理想の国はどうあるべきかと、学びを深めていきます。そのプラトンが弟子たちと問答を繰り返した場所は、なんと「すずかけの木」の下だったと伝えられているのです。

なぜ「すずかけの木」だったか・・・それは、大きな葉が日差しを遮り、みんなが集まれる木陰を作るからでしょう。すずかけの木の影は、大昔からこのように、安心して語り合い、学び合う場所だったのです。

若葉小にあるすずかけの木も、同じように大きな枝を広げています。まるで、「誰でもここに集まっていいんだよ」「みんなで何でも意見を出し合っっていいんだよ」と言っているようです。その木が、若葉小のシンボルツリーなのです。

だからこそ、みんなもこの木の話のように「互いに語り合い、学び合うこと」やそのために「心を広くして仲間を受け入れること」を大切にしてほしいと思います。素敵なシンボルツリーですね。ちなみに、このすずかけの花の花言葉は、プラトンのこの有名な話から「天才」とか「好奇心」とかと言われています。

近くに寄ってみると・・・葉っぱが大きいのが特徴ですね。わかばちゃんの頭は、この大きな葉っぱがモデルになっているようですね。こんな素晴らしいお話が詰まっている「すずかけ」の葉を頭に乘せたわかばちゃんを誇りに、心を広くして、お互いに語り合い、学び合うことができるようにしたいですね。

図書室に博物館の展示物が！

先日の「若葉秋まつり」で体育館に展示されていた「博物館の昔の道具」を子どもたちにじっくりと見てもらおうと、1ヶ月間お借りすることになりました。若葉校区のまちづくり委員会の計らいです。ありがとうございます。

